

教科 Subject	外国語		科目 Course	英語	学年 Grade	1	単位数 Credits	3
教科書 Textbook	NEW TREASURE English Series 1 (Z会)			副教材Additional Text /materials	準拠文法問題集1 (Z会)、ビーコン英和辞典 (三省堂)、英語のたてよこドリル1年 (正進社)			
科目の目標 Course Objectives		「聞く、話す、読む、書く」の4技能に加えて、英語を用いた自己表現を正確に行うために文法事項を理解し、活用する力を身につける。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験60%、授業中のパフォーマンステスト20%、提出物・授業態度20%で評価する。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	Introduction		<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの取り方や授業の受け方について知る。 ・アルファベットの太文字・小文字の書き方を理解できる。 ・身のまわりの英語の意味を理解できる。 ・am / are / is の3つを適切に使い分けすることができる。 ・肯定・否定・疑問の用法を理解し、使いこなすことができる。 ・代名詞と形容詞を理解し、使いこなすことができる。 ・疑問詞whatとwhoを用いた疑問文を正しく理解する。 ・一般動詞の肯定・否定・疑問文を理解し使うことができる。 ・be動詞や一般動詞を使って英文を作ることができる。 			
		2	Let's Start! ①					
		3	Let's Start! ②					
	5	4	Lesson 1: be動詞の文(文の形)					
		5	中間試験					
	6	7	Lesson 2: be動詞の文(代名詞、形容詞、疑問詞)					
		8	Lesson 3: 一般動詞の文					
9								
10	パフォーマンステスト (Lesson1から3の内容で出題)							
2 学期	9	11	Lesson 4: 複数形と単数形		<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の単数形、複数形を正しく使いこなすことができる ・三人称を理解し、適切に使うことができる。 ・whereやwhenの文を理解し、使うことができる。 ・所有代名詞を理解し、使うことができる。 ・疑問詞whoseの文を理解し、使うことができる。 ・疑問詞howやwhichの文を理解し、作ることができる。 ・さまざまな命令文や、勧誘の表現を理解する。 ・助動詞canを使った肯定文、否定文、疑問文を理解する。 			
		14	Lesson 5: 三人称単数、疑問詞①					
		15	中間試験					
	10	16	Lesson 6: 疑問詞を使った疑問文					
		17	Lesson 7: 命令文、canを使った文					
	11	18	パフォーマンステスト (Lesson4から7の内容で出題)					
		19						
20		期末試験						
3 学期	1	21	Lesson 8: 現在進行形		<ul style="list-style-type: none"> ・現在形を使う表現、現在進行形を使う表現の違いを理解し、適切に使い分けすることができる。 ・過去形の肯定文、否定文、疑問文を理解し、使うことができる。不規則動詞の過去形を理解し、使うことができる。 ・1年間の学習を振り返り、学習内容を充実させる。 			
		27	Lesson 9: 一般動詞の過去形					
		28	パフォーマンステスト (Lesson4から7の内容で出題)					
	2	29	1年間の振り返り					
		30	学年末試験					
	3	31						
		32						
33								
34								
35								

履修者へのメッセージ Message for Students

本校の英語の授業では文法だけではなく、4技能を大切にしています。さらに大学受験が新形式になる関係で、英語の検定を取得することが求められます。コミュニケーション能力とともに、書く力と読み取る力もつけていきましょう。そのために中学生では基礎を学びます。英語は積み重ねが必要不可欠です。毎日しっかりと努力をする習慣をつけて、英語を習得しましょう。

教科 Subject	外国語		科目 Course	英語	学年 Grade	2	単位数 Credits	4		
教科書 Textbook	NEW TREASURE English Series 1 (Z会) NEW TREASURE English Series 2 (Z会)			副教材Additional Text /materials	準拠文法問題集1,2 (Z会)、ピーコン英和辞典 (三省堂)、英語のたてよこドリル2年 (正進社)					
科目の目標 Course Objectives			「聞く、話す、読む、書く」の4技能に加えて、英語を用いた自己表現を正確に行うために文法事項を理解し、活用する力を身につける。							
評価の基準 Assessment Standards			定期試験60%、授業中のパフォーマンステスト20%、提出物・授業態度20%で評価する。							
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~					
1 学期	4	1	Introduction (授業の進め方と予習・復習の仕方について)		・動詞の現在形と現在進行形の違いを理解し、現在進行形を使って、今していることを説明することができる ・一般動詞の過去形を使った文の構成を理解し、過去にしたことについて説明したり尋ねたりすることができる。					
		2	Lesson8:現在進行形 (Lesson8-1,8-2は復習)							
		3	Lesson9: 一般動詞の過去形							
	5	4	Lesson8, 9 の既習事項を用いたパフォーマンステスト		・be動詞の過去形、過去進行形を使った文の構成を理解し、過去の様子を紹介することができる。主語のitを用いた天候や曜日の表現を理解し、使うことができる。					
		5							Lesson 10: be動詞の過去形	
	6	6	Lesson 11: 未来を表す表現 be going to		・未来を表す表現を使った文の構成を理解し、すでに決まっている予定について紹介し、疑問詞を加えた文で相手の予定を尋ねることができる。理由や方法を尋ねる疑問文を作ることができる					
		7							Lesson10, 11 の既習事項を用いたパフォーマンステスト	
8										
2 学期	9	9	Lesson12: さまざまな助動詞		・助動詞will, can, may, mustの意味と違いを理解し、相手に依頼したり許可を求めたりする文を作ることができる。 ・ There is/ are~.の文の組み立てを理解し、物や人の数や場所を説明することができる。					
		10	Lesson13: There is / There are~. の文							
		11	Lesson12, 13の既習事項を用いたパフォーマンステスト							
		12	Lesson14: 比較							
	11	13	Lesson14の既習事項を用いたパフォーマンステスト		・形容詞と副詞の原級、比較級、最上級を理解し、それらを使って物や人を比較することができる。					
		14								
		15								
	3 学期	1	16	Lesson14の既習事項を用いたパフォーマンステスト		・助動詞shall, will, would の表現を理解し、申し出や提案、依頼を表す文を作ることができる。/mustとhave to の違いを理解し、使うことができる。/文の構想 (S, V, O, C, M) を理解することができる。 ・不定詞の基本構造と用法を理解し、それぞれの用法の意味を使い分けることができる。				
			17	Lesson14の既習事項を用いたパフォーマンステスト						
			18	Lesson14の既習事項を用いたパフォーマンステスト						
2		19	Lesson1: 助動詞表現/文の構造 1		・助動詞shall, will, would の表現を理解し、申し出や提案、依頼を表す文を作ることができる。/mustとhave to の違いを理解し、使うことができる。/文の構想 (S, V, O, C, M) を理解することができる。 ・不定詞の基本構造と用法を理解し、それぞれの用法の意味を使い分けることができる。					
		20	Lesson1: 助動詞表現/文の構造 1							
		21	Lesson1: 助動詞表現/文の構造 1							
3		22	Lesson2: 不定詞		・助動詞shall, will, would の表現を理解し、申し出や提案、依頼を表す文を作ることができる。/mustとhave to の違いを理解し、使うことができる。/文の構想 (S, V, O, C, M) を理解することができる。 ・不定詞の基本構造と用法を理解し、それぞれの用法の意味を使い分けることができる。					
		23	Lesson2: 不定詞							
		24	Lesson2: 不定詞							
3	25	Lesson2: 不定詞		・助動詞shall, will, would の表現を理解し、申し出や提案、依頼を表す文を作ることができる。/mustとhave to の違いを理解し、使うことができる。/文の構想 (S, V, O, C, M) を理解することができる。 ・不定詞の基本構造と用法を理解し、それぞれの用法の意味を使い分けることができる。						
	26	Lesson2: 不定詞								
3	27	Lesson2: 不定詞		・助動詞shall, will, would の表現を理解し、申し出や提案、依頼を表す文を作ることができる。/mustとhave to の違いを理解し、使うことができる。/文の構想 (S, V, O, C, M) を理解することができる。 ・不定詞の基本構造と用法を理解し、それぞれの用法の意味を使い分けることができる。						
3	28	Lesson2: 不定詞								
3	29	Lesson2: 不定詞		・助動詞shall, will, would の表現を理解し、申し出や提案、依頼を表す文を作ることができる。/mustとhave to の違いを理解し、使うことができる。/文の構想 (S, V, O, C, M) を理解することができる。 ・不定詞の基本構造と用法を理解し、それぞれの用法の意味を使い分けることができる。						
3	30	Lesson2: 不定詞								
3	31	Lesson2: 不定詞		・助動詞shall, will, would の表現を理解し、申し出や提案、依頼を表す文を作ることができる。/mustとhave to の違いを理解し、使うことができる。/文の構想 (S, V, O, C, M) を理解することができる。 ・不定詞の基本構造と用法を理解し、それぞれの用法の意味を使い分けることができる。						
3	32	Lesson2: 不定詞								
3	33	Lesson2: 不定詞		・助動詞shall, will, would の表現を理解し、申し出や提案、依頼を表す文を作ることができる。/mustとhave to の違いを理解し、使うことができる。/文の構想 (S, V, O, C, M) を理解することができる。 ・不定詞の基本構造と用法を理解し、それぞれの用法の意味を使い分けることができる。						
3	34	Lesson2: 不定詞								
3	35	Lesson2: 不定詞		・助動詞shall, will, would の表現を理解し、申し出や提案、依頼を表す文を作ることができる。/mustとhave to の違いを理解し、使うことができる。/文の構想 (S, V, O, C, M) を理解することができる。 ・不定詞の基本構造と用法を理解し、それぞれの用法の意味を使い分けることができる。						

履修者へのメッセージ Message for Students

2年生では、1年生で学んだ内容が基礎になり、さらに多くの表現、さらに高度な表現を学んでいきます。表現の幅が広がって行きます。授業で学ぶ内容や、辞書を活用して学ぶ語彙を活用し、自分の意見を述べたり、相手に質問したりできるように取り組んで行きましょう。

教科 Subject	外国語		科目 Course	英語	学年 Grade	3	単位数 Credits	4
教科書 Textbook	NEW TREASURE English Series 2 (Z会)			副教材Additional Text /materials	準拠文法問題集2 (Z会)、ビーコン英和辞典 (三省堂)、英語の総仕上げ問題集 (東京書籍)			
科目の目標 Course Objectives		「聞く、話す、読む、書く」の4技能に加えて、文法事項を理解し、まとまりのある表現を自分で使いこなすことができる。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験60%、授業中のパフォーマンステスト20%、提出物・授業態度20%で評価する。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	Introduction (授業の進め方と予習・復習の仕方について)		<ul style="list-style-type: none"> 接続詞を理解し、前後関係から適切な接続詞を使うことができる。 接続詞thatの働きを理解することができる。/文の構造(SVOC, SVOO)を理解し、構造的に文を捉えることができる。 質問に対して目標量の英文を書くことができる。 動名詞を理解し、不定詞との違いがわかるようになる。 日本語にはない表現である現在完了の作り方と意味を理解し表現することができる。また、動詞の原形、過去形、過去分詞を覚えて様々な文を作ることができる。 質問に対して2つの理由を述べて英文を書くことができる 受動態の形を理解し、表現することができる。また直前のLessonでの既習事項(原形、過去形、過去分詞)を改めて覚え定着させることができる。 名詞、不定代名詞、再帰代名詞を理解して適切に使うことができる。 接続詞を効率的に用いた構成で書くことができる。 Lesson5の動名詞、Lesson6,7の過去分詞を復習しながら同じ形でも違う使い方があることを理解することができる。 関係代名詞について理解し、適切に使い分けることができる。 質問に対して、綴りを意識しながら英文を書くことができる。 Lesson2の不定詞を復習しながら、新しい表現を理解することができる。 比較、間接疑問、付加疑問、感嘆文を理解し、適切に使うことができる。 自分の意見を裏付ける理由を2つ挙げ、目標量の英文を論理的に書くことができる。 			
		2	Lesson3: 接続詞 (Lesson3-1, 3-2は復習)					
		3						
	5	4	Lesson4: 接続詞that/文の構造2					
		5	パフォーマンステスト					
	6	6	パフォーマンステスト					
		7	Lesson5: 動名詞					
8								
7	9							
	10	Lesson6: 現在完了						
	11							
	12	パフォーマンステスト						
2 学期	9	13	Lesson7: 受動態					
		14						
		15						
		16	Lesson8: 名詞/不定代名詞/再帰代名詞					
	10	17	パフォーマンステスト					
		18	パフォーマンステスト					
		19	Lesson9: 後置修飾/分詞による修飾					
	11	20						
21								
22		Lesson10: 関係代名詞						
23								
12	24							
	25	パフォーマンステスト						
	26							
	27							
3 学期	1	28	Lesson11: 不定詞の発展的用法					
		29						
		30	Lesson12: 比較/間接疑問/付加疑問/感嘆文					
	2	31						
		32						
		33	パフォーマンステスト					
	3	34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

中学校最後の英語学習の1年間が始まります。1、2年生で学んだ内容が基礎になり、さらに多くの表現、さらに高度な表現を学習していきます。授業で学ぶ文法事項を用いたり、辞書を活用して学ぶ単語を活用して、自分の意見を明確に述べるように練習して行きましょう。